

グループコミュニケーションの新定番!!

いましてすぐ始める

eグループ 活用ガイド

インターネットは「究極のコミュニケーションツール」と称される。しかし、コミュニケーションに貪欲な私たちユーザーは、電子メールやチャット、掲示板やメーリングリストなどといった「とてつもなく便利な」ツールにも満足することなく、常に「より便利な」コミュニケーションツールを探し求めている。そして今、そんなユーザーの要求を満たす究極のコミュニケーションツール「eグループ」が登場した!

インターネットマガジン編集部

Photo : Nakamura Tohru illust : Hasegawa Takako

グループの
コミュニケーションが
ここから大きく変わる!



1分でメーリングリストも作れる!

eグループによようこそ!

皆さんは「eグループ」をご存じだろうか?

eグループは、電子メールとウェブサイトをベースにしたコミュニケーションサービスだ。トップページにある「1分でつくれる無料メーリングリスト」の言葉どおり、ユーザーは、eグループのウェブサイトですぐ簡単な登録をするだけで、メーリングリストやボイスチャット、WWWブラウザから使える予定表や掲示板などのサービスを無料で利用できるようになる。さらに、グループの管理も非常に簡単なので、初心者でも手軽にグループを作ることができる。

99年8月に日本でのサービスを開始して以来、約3か月でユーザー数が10万人を突破したというが、その勢いはダテじゃない!



Jump www.egroups.co.jp



簡単・多機能で使い方も思いのまま!

eグループでできるアレコレ

ここでは、eグループで提供されている主な機能と活用法を紹介しよう。eグループには、これまで個別に提供されることが多かった「メーリングリスト」や「予定表」などといったサ

ービスが、すべてワンパッケージになって提供されており、どの機能もブラウザ上で利用できる。そのため、いろいろな機能を組み合わせ、使うことが可能になり、グループの活動の幅

も大きく広がるだろう。さらに、グループウェア顔負けの多機能ぶりでありながら、すべて無料で使える。趣味から仕事に至るまで、まさに「使い方は」だ!

eグループの主な機能



メッセージ(メーリングリスト)

eグループでグループを作ると、専用メールアドレス(グループアドレス)が提供される。このグループアドレス宛てにメールを送れば、グループのメンバー全員にメッセージが配信される仕組みだ。メッセージはメールソフトばかりでなく、ブラウザを使ってウェブからも入力できる。



トーク(ボイスチャット)

PCにマイクとスピーカーがあれば、インターネット経由でグループのメンバーとボイスチャットが楽しめる。会話には同時に200人まで参加でき、もちろん一対一でも使うことができる。



予定表

eグループではブラウザで見られる予定表も利用できる。グループの予定表だけでなく、個人用の予定表が作れるのも便利だ。大事な予定はあらかじめ設定しておけばメールで知らせてくれる。



投票

アンケートや投票もできるので、メンバー間の意見の調整もスムーズになる。投票結果はリアルタイムでウェブページに反映されるので、いつでも確認できる。



リンク

グループ用のリンク集ページを作ることができるので、メンバー間でおすすめのページなどを共有できる。



データベース

ブラウザ上でさまざまなデータベースが共有できる。メンバーの連絡先を入力しておけば、グループの共有アドレス帳としても利用できる。



共有フォルダー

イベントで撮影したデジタル写真はもちろん、みんなで参照する資料類、プレゼン資料などをグループのメンバーだけで共有できる(最大容量20Mバイトまで)。

すべての人にeグループを!!



サークルやクラブなどの活動に...

野球やサッカーのチーム、町内会や同窓会などの運営はeグループにおまかせ! 連絡網代わりにメーリングリストを使うばかりでなく、予定表や共有フォルダーだって思いのままだ。

一歩進んだメーリングリストに...

メーリングリストをeグループに移行すれば活動の幅も広がるぞ! オフ会の予定を「投票」で決めて「予定表」に記入、当日の写真は「共有フォルダー」に...なんていうのも簡単。



ビジネスのパートナーとの共同作業に...

離れた場所にいるパートナーとの仕事も、eグループならお手のもの。資料はeグループの共有フォルダーに置いておけるので、動き回ることが多いビジネスマンにもおすすめだ。

友人や家族との連絡に...

単なる飲み友だち同士などでも大いに利用できる。疎遠になった知人や、離れて暮らす家族や親類とグループを作るのもいいだろう。





これであなたもグループオーナー

eグループを作ってみよう!

メーリングリストの管理者という、設定や管理にUNIXの難しいコマンドの知識などが求められると思われがちだ。しかしeグループの管理には、難しいコマンドなどは一切必要ない。ウェブ上で簡単な設定をするだけで、誰でもグ

ループのオーナー(管理者)になれるのだ!
実際のグループ作成の流れは、グループの概要を登録したうえで、メンバーを誘って登録するだけ…。それでは、さっそく新しいグループを作ってみよう!

1



トップページで「eグループをつくらう」をクリック。
Jump www.egroups.co.jp

新しいグループを登録する!

2



自分のメールアドレスを入力しよう

ここで入力した文字列が、自分のグループのアドレス(メンバー全員宛てのアドレス)に使われる。ここでは、manpuku@egroups.co.jpがグループアドレスになる。

「グループ名」は、グループの内容が一目でわかる名前を付けよう!

グループの詳細を説明する文章を入力する。この文章は、メンバーを招待する際のメールなどにも引用される。

「誰でも参加できるグループ」にするのか、「参加には管理者の承認が必要なグループ」にするのかを選択。

メッセージの投稿に関するルール。投稿できる人を「メンバーだけ」「管理者だけ」「だれでも」の中から選択。

投稿されたメッセージが、そのままメンバーに配信されるのか、管理者がチェックした後でメンバーに配信されるのかを選択できる。

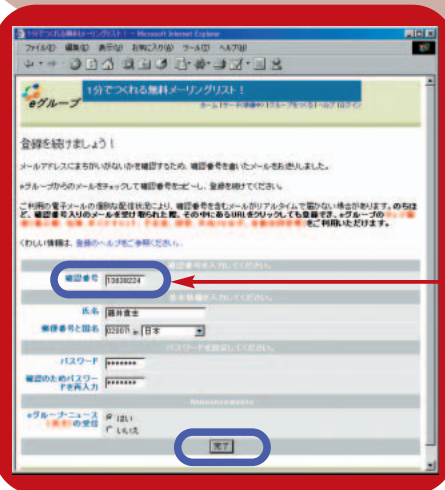
ウェブ上でメッセージログを読むことができる人を設定。

eグループのリストに自分のグループを登録するかどうかを設定。

グループのメンバーリストを見られる人を設定する。

メイン登録画面。ここでグループの名称やルールを設定する。

3



入力する

先ほどの画面で設定が終わると、eグループから確認メールが送信される。確認メールに書かれている「確認番号」をページ内の「確認番号」の欄に入力し、その下で自分の名前やパスワードを設定すればOKだ。

確認メールの内容

eGroupsへの登録をお申込みいただきありがとうございます。手続きに必要な確認番号をお届けします。

あなたの確認番号は [13888224] です。

これは、メールアドレスが正しいことを確認するためのメールです。確認番号を登録フォームに入力して、登録を続けてください。

登録フォームは、<http://www.egroups.co.jp/register?email=fujii-tk40@impress> にもあります。

わからないことがありましたら、<http://www.egroups.co.jp/info/help.html> も併せてご参照ください。

今後ともeGroupsをよろしくお願いたします。

「仲間をグループに招待しよう!」へ!(次ページ)

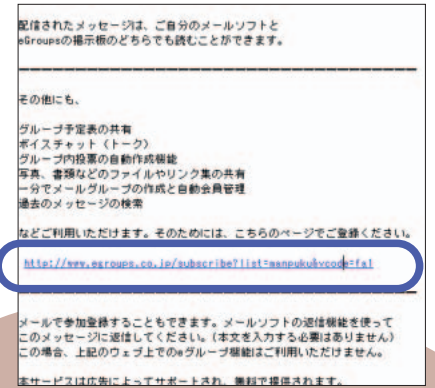
仲間をグループに招待しよう!



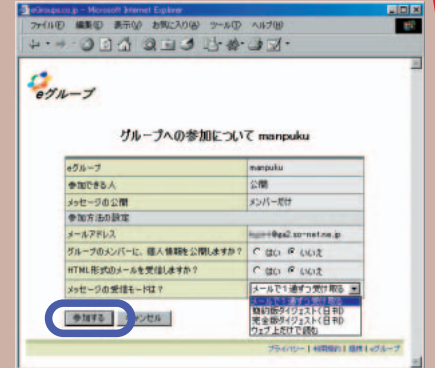
4

グループが登録できたら、さっそくメンバーを集めよう。グループの招待状を送信したい相手のメールアドレスをAの欄に入力して、「グループへの招待・追加の完了」をクリック。

グループに招待された人は...



管理者から招待を受けた人のもとには、このような「招待メール」が届けられる。招待されたグループのメンバーになるには、メール本文の中ほどにあるURLにアクセスしてメンバー登録を行う必要がある。



グループに参加する場合は、メンバー間でやりとりされるメッセージの受信方法などを設定して「参加する」をクリックし、次の画面でパスワードを設定すればOKだ。



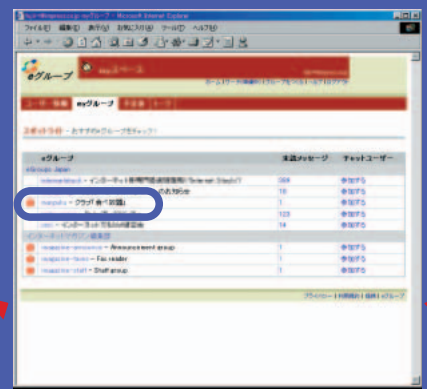
5

登録完了の確認画面が表示されればOKだ!

登録したグループにログインする



トップページでメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックする。



「myスペース」画面。ここでは自分が入っているグループの一覧が表示されるので、ログインしたいグループの名前をクリックしよう。

ブラウザの設定で「クッキーを使う」にしてあれば、二度目からは自分が認識されるので、このまま「myスペース」に進めるぞ!



「グループ情報」のページにログイン完了! 次ページからは、eグループの各機能の使い方を紹介する。



基本的な使い方を完全マスター

eグループを使おう!

グループの登録を終え、グループのメンバーも集まったら、いよいよeグループが提供する新しいグループコミュニケーションの世界に足を踏み入れたことになる。さっそくeグループの各機能を使ってみよう! 機能が多くても操作が簡単なのがeグループのいいところ、どの機能もすぐにマスターできるだろう。まずは、eグループのトップページから目的のグループにログイン(前ページ参照)して、「グループ情報」ページにアクセス!

これが「グループ情報」ページだ!



メニュー

それぞれの機能を使うには、ここから選ぶ。

設定の変更

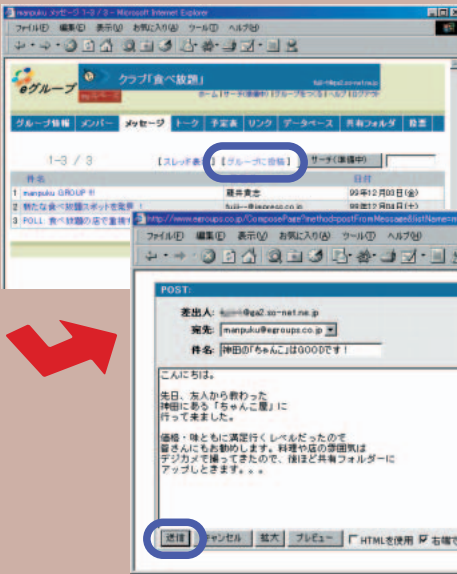
メッセージの受信方法などの設定はここから変更できる。



メッセージ

メッセージの投稿は、ブラウザを使ってウェブからも行えるし、メールソフトからでも可能だ。メッセージはメンバー全員に配信されるので、メーリングリストとしても利用できる。

ウェブからの投稿

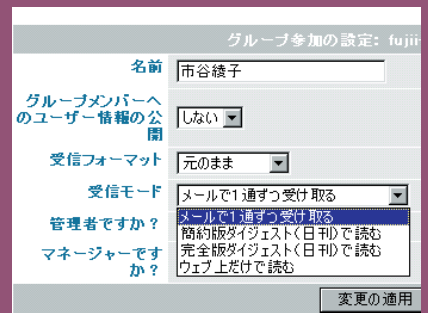


「グループ情報」のメニューで「メッセージ」を選択し、次の画面で「グループに投稿」をクリック。

メッセージの作成画面。HTMLメールも使えるが、HTMLメールを送る際は相手のメールソフトがHTMLメールに対応していることを確認しておこう。「送信」をクリックすればメッセージが投稿される。

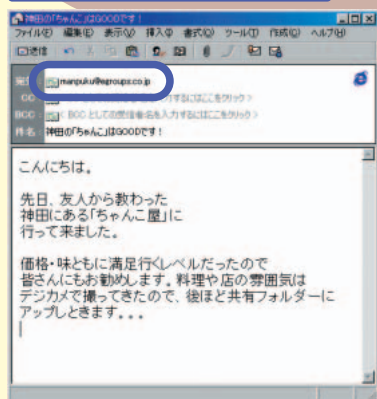
ここがポイント!

各メンバーから投稿されたメッセージの履歴は、いつでもウェブで確認できる。また、メッセージの受信方法は各自が自由に設定できる。「グループ情報」ページで「グループ参加の設定を変更」をクリックすれば、設定ページにアクセスできるぞ。



メッセージの受信方法を選択。

メールソフトから投稿



宛先を「グループアドレス」にして、あとは通常のメールと同じようにメッセージを書いて送信するだけ。

ユーザーの声

私のeグループ活用法

うさぎさん(ネットアイドル)

ファンの方々とのコミュニケーションをeグループで行っています。「うさぎのPHOTO日記」を配信したり、クイズを出題したり、ボイスメールを送ったりしています。また、共有フォルダーには写真を載せたり、ファンの方々がCGを作って作品を投稿してくれたりもしています。さらに、予定表にオフ会やパーティーの設定をして、投票の機能を使って参加者の確認ができるのも便利です。なかでもボイスチャットが

感動的です。誰がオンラインかがわかる上に、複数の人たちと同時におしゃべりできるeグループには衝撃を受けました!

これからは、もっともっとたくさんのファンの方々と交流を深めてほしいなと思います。目標1万人! うさぎ国をつくりたいです

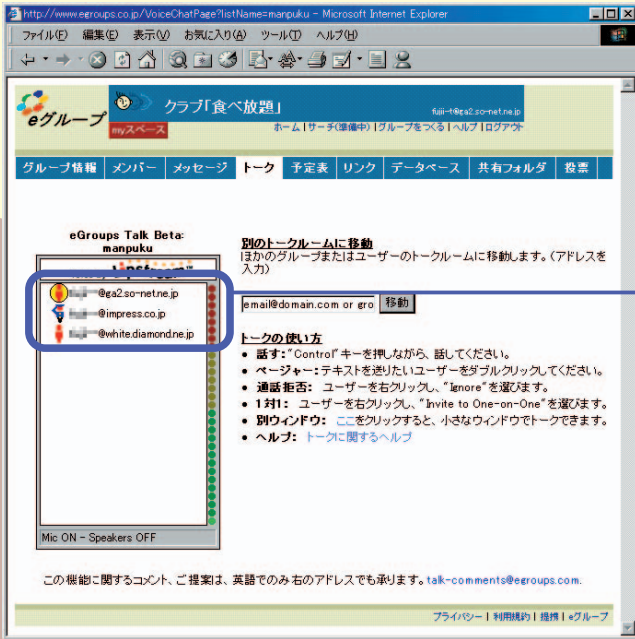
「USAGI CHANNEL」 Jump i.am/usagichan
うさぎファンクラブメール
usausa-subscribe@egroups.co.jp

HTMLメール:メールのレイアウトにHTMLを使うことによって、画像なども使うことができる電子メールの形式。受信側のメールソフトにHTMLメールを読み込む機能がないときは、うまく表示できないので注意が必要。



トーク(ボイスチャット)

PCのマイクとスピーカーを使ったトーク機能(ボイスチャット)を使ってみよう。これを使えば、インターネットを経由して、世界中の人と音声によるコミュニケーションが楽しめる! なお、これはLipstream社の技術が使われている。



ボイスチャットにログインしているメンバー

「グループ情報」ページのメニューで「トーク」をクリックすると、ボイスチャットのページが表示される。画面には使い方も表示されているので、初めてでも簡単に使えるだろう。



ここがポイント!

この機能を使うには、ブラウザにプラグインをインストールする必要がある(現在はウィンドウズ版のみ)。くれぐれも、マイクとスピーカーの準備はお忘れなく...



指示に従ってプラグインをインストール!



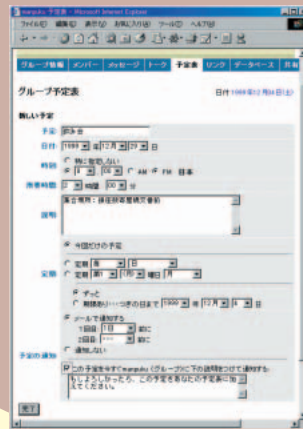
予定表

イベントのスケジュールは、各メンバーがどんどん予定表に書き込んでいこう! グループの活動も大いに盛り上がること請け合いた。さらにeグループでは、「グループの予定表」と「自分だけの予定表」を使い分けられるのも嬉しい。



カレンダーの表示モード
予定表の種類

「グループ情報」ページのメニューで「予定表」を選ぶと現れる画面。新たな予定の追加は「新しい予定」をクリック!



新しい予定を入力する画面。ここで必要事項を入力して「完了」を押すだけで、予定表に新たな予定を加えることができる。

ユーザーの声

私のeグループ活用法

私は建設現場の監督をしています。eグループを使う主な目的は「データの共有」です。建設現場というのは各所で不定期に散らばって発生しますが、大部分の書類は似通っているので共有できます。しかしながら現在は、それらの共有は活発には行われていません。そのため現場監督者は、書類作成などの内勤業務に多く

の時間を割かざるを得ない状況です。こうした問題を解決するには、ネットワークを利用してデータの共有ができる環境を用意することが有効だと思うのです。さらに、配布したファイルのサポートや案内などを行うグループも準備中です。書類の入力や編集が行えるように電子ファイルを公開し、要求に応じて配布していきま

高務正之さん(会社員)

す。それらのサポートや案内をネットワークを使って行う予定です。どの建設業者がどこからでもアクセスできる「グループサーバー」を誕生させたいです。そうすれば、壮大な建設業ネットワーク「kグループ」だって実現できるのではないのでしょうか。

vba.system.to/meibo/

リンク



グループで使える便利なリンク集を作ろう！作り方は、画面メニューで「リンク」をクリックし、表示された画面でタイトルやURL、コメントを入力して「URLの追加」をクリックすればOKだ。

共有フォルダー



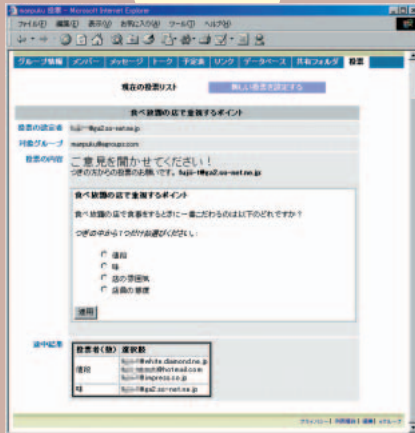
画面メニューで「共有フォルダ」をクリックすれば、ファイル共有の画面だ。データベースの入力フォームなどをここに置いておけば、フォーム上で入力されたデータによって、データベースが自動的に更新される。共有フォルダーに置いたファイルの保存先URLはメールでも送れる。

データベース



住所録などのデータベースだって簡単に作れる。画面メニューの「データベース」を選べばデータベースのページにアクセスできる。現在は版のため項目欄には英語しか使えないが、内容は日本語でもOKだ！データの並べ替えもできるので利用価値は高いだろう。

投票



イベントの日程を決める際など、メンバーの意見をまとめるときに便利なのが「投票」機能だ！メニューで「投票」をクリックしてみよう。質問を設定するには「新しい投票を設定する」をクリックすればいい。

eグループなら管理も楽ラク！

とかく面倒だと思われがちな「管理者」だが、eグループの管理者にその常識は当てはまらない。グループのルールの設定や変更といった決めごと



管理者用のメニューには「管理」が加わり、グループ登録時に設定した項目も簡単に変更できる。

は、すべてウェブ上で操作できる。もちろん、ブラウザが使える環境なら、どこからでもOKだ！
管理者の承認を必要とする設定にしてあるものも、管理者用画面で確認できる。

！ここがポイント！

グループのメンバーを増やすにはPR活動が重要だ。eグループでは申し込み用フォームのHTMLソースを提供してくれるので、ソースをコピーして自分のページに貼り付けよう！

「グループ情報」ページで「プロモーション」をクリックするとHTMLソースや使い方が表示される。

クラブ「食べ放題」グループに入りませんか？
メールアドレスを入れてボタンをクリック！

manpukuグループのページ
無料メールンダリスト eGroups
自分のページなどの人目に付く場所に貼って
おけばメンバー募集の効果大だ！

米国のすばらしいサービスを日本のユーザーにも使ってもらいたかった

最後に、このeグループを米国から日本に持ち込んだ大山彰久さん(eグループ株式会社代表取締役社長)に話を聞いた。

eグループとの出会い

私は、86年にゴールドマン・サックスに入社して以来、ずっと金融畑を歩んできました。その後、米国で電子マネーを扱うサイバーキャッシュ社の立ち上げにコンサルタントとしてかかわっていました。当時はショップのオーナーと知り合うことが多く、私は彼らへのサービスのため、お客さんへのアフターフォローが簡単にできるようなパッケージソフトを探していました。と言うのも、eコマースにおいては、決済だけでなく、いかにお客さんと緊密なつながりを保てるかが非常に重要だからです。メーリングリストによるコミュニケーションも盛んですが、これまでのメーリングリストは管理が非常に面倒です。このことは、電子マネーのセミナーで知り合ったメンバー間のメーリングリストの管理人をつとめたときにも強く感じていました。

そういったこともあって、米国のヤフーで、何かそうしたパッケージサービスがないものかと探していたときに出会ったのが、このeグループだったわけです。

日本法人の設立へ

実際にeグループを使ってみると、メーリングリスト以外にも便利な機能がたくさんありました。いろいろな人と話しているうちに「日本にもこういうものが必要だ」という話になって、98年11月の中旬、まずはメールで「日本で何がやりたいのか」「自分がeグループという会社にどう貢献できるか」といったことを米国のeグループ社に送りました。すると「日本には目を付けていた」という返事がすぐに届いたので、98年11月23日の連休に米国まで足を運びました。その後、99年1月に日本で会社を登記して、99年8月にサービスを始めました。今では、10万人以上の人々が毎日約20万通ものメールをやりとりしています。広告については、この20万通という数字を100万通まで押し上げてから本格的に取り組むつもりです。

コミュニケーションの新しい姿

たとえば、大企業で働く人が「お客さんとメーリングリストを作りたい」と思っても、社内のシステム部などに頼まなければならないと思うんです。そんなときに、eグループを使えば簡単にMLが作れるので、企業の事業部ごとでも手軽に使っていただけます。

また、これまでHTMLとCGIを組み合わせで行っていたデータベース(DB)の管理も、eグループの共有フォルダーにDB入力フォームをHTMLで置いておけば、そこで打ち込まれたデータがDB上で自動更新できます。これは非常に便利なので、ぜひ使っていただきたいですね。Jump

ユーザーの皆さんからの反響を見ていて感じることは、速く離れた場所にいる人と同じ空間にいるように感じるということに、たいへん多くの方が価値を見出しているということです。時間や場所の制約なしにいつでもみんなで話し合いができるというのは、ある意味で21世紀の姿かもしれません。実際に、労働生産性も非常に高まります。さらに、これからはコミュニケーションにおける関係もフラットなものになっていくのではないのでしょうか。従来のように「役所 大企業 下請け」といった構造ではなく、みんなが対等になることで、誰かが誰かを支配するのではなく、みんなが平等な立場でコミュニケーションができる社会になっていくように感じています。

Jump www.egroups.co.jp/docvault/faqjp/Sample/form_sample.html

eグループ(eGroups,Inc)は、1998年6月にスタンフォード大学卒のマーティン・ロシュアイゼン氏とスコット・ハッサン氏によって設立されたベンチャー企業。99年12月時点で1300万人以上のユーザーに利用され、ウェブ上のグループウェア分野のASPとしては世界ナンバーワンを誇る。

Jump www.egroups.com

日本法人の概要

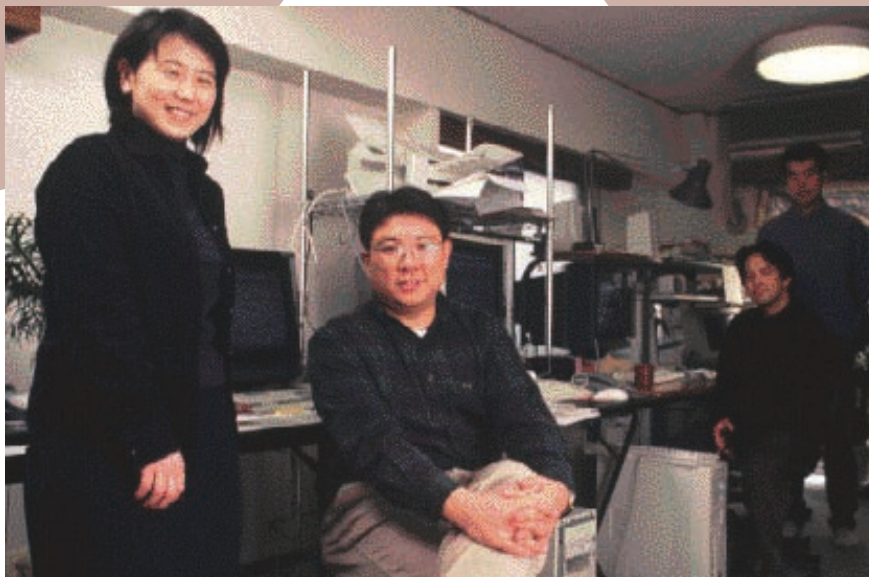
会社名：eグループ株式会社

設立：1999年1月

資本金：10,000,000円

代表取締役社長：大山彰久

Jump www.egroups.co.jp



eグループのスタッフの皆さん。左から、浜口昌子さん、大山彰久さん(代表取締役)、松山太河さん(取締役)、上田学さん(技術開発部長)、東京にあるeグループのオフィスにて。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp